



## 2026年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年5月7日

上場会社名 株式会社ヨンキョウ 上場取引所 東  
 コード番号 9955 URL http://www.yonkyu.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 笠岡 恒三  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長兼経営企画課長 (氏名) 善家 富夫 TEL 0895-24-0001  
 定時株主総会開催予定日 2026年6月17日 配当支払開始予定日 2026年6月18日  
 有価証券報告書提出予定日 2026年6月18日  
 決算補足説明資料作成の有無： 無  
 決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年3月期の連結業績（2025年4月1日～2026年3月31日）

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	47,676	6.2	1,869	20.9	2,194	4.3	3,784	167.4
2025年3月期	44,887	△0.5	1,546	△20.5	2,105	△11.4	1,415	△13.4

(注) 包括利益 2026年3月期 2,139百万円 (9.9%) 2025年3月期 1,947百万円 (△20.1%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	308.87	—	9.5	4.1	3.9
2025年3月期	115.64	—	3.7	4.1	3.4

(参考) 持分法投資損益 2026年3月期 △50百万円 2025年3月期 37百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	55,291	40,780	73.7	3,327.30
2025年3月期	52,340	38,857	74.2	3,173.58

(参考) 自己資本 2026年3月期 40,776百万円 2025年3月期 38,853百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	2,660	3,260	△820	22,517
2025年3月期	2,228	△1,313	△233	17,417

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2025年3月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 20.00	円 銭 20.00	百万円 244	% 17.3	% 0.6
2026年3月期	—	0.00	—	25.00	25.00	306	8.1	0.8
2027年3月期(予想)	—	0.00	—	—	—		—	

(注) 1. 2025年3月期の期末配当金の内訳 普通配当 17円00銭 特別配当 3円00銭  
 2. 2026年3月期の期末配当金の内訳 普通配当 17円00銭 特別配当 8円00銭  
 3. 2027年3月期の年間配当金については、引き続き安定配当を基本方針としますが、現時点では当該基準日における配当予定額は未定としております。

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）  
2027年3月期の連結業績予想につきましては、現時点では未確定な要素が多いため、予測可能となった時点で公表します。

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無  
② ①以外の会計方針の変更： 無  
③ 会計上の見積りの変更： 無  
④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期	12,290,862株	2025年3月期	12,278,491株
② 期末自己株式数	2026年3月期	35,813株	2025年3月期	35,723株
③ 期中平均株式数	2026年3月期	12,251,445株	2025年3月期	12,239,269株

（注）詳細は、添付資料14ページ「1株当たり情報」をご覧ください。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料2ページ「1. 経営成績等の概況（1）当期の経営成績の概況、（4）今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
(連結損益計算書) .....	7
(連結包括利益計算書) .....	8
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(セグメント情報等の注記) .....	12
(1株当たり情報の注記) .....	14
(重要な後発事象の注記) .....	14
4. その他 .....	14

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度は、イラン軍事衝突勃発により中東地域からの原油供給停滞が長期化する懸念が高くなり、各種資材調達の困難や諸物価の上昇が続く個人消費への圧迫を一層強めております。

養殖業界におきましては、気候変動による温暖化の影響により赤潮の発生や海水温の上昇等によるリスク増大、また、配合飼料など原材料価格の高止まり等により、経営環境は厳しい状況が続いております。

こうした状況の中、当社グループの「鮮魚の販売事業」は、魚価が引き続き高値で推移したため増収となりました。また、「餌料・飼料の販売事業」も、生餌の販売数量が増加し増収となりました。

利益面については、養鰻事業が国内需要低迷の中にあつて、国産鰻の荷余り感および中国等からの安価な活鰻輸入によって販売価格が一層下落して営業赤字となっております。一方、従前からの中核事業は堅調な業績で推移し、中でも生餌の販売数量増加により連結営業利益は増益となりました。しかし、受取配当金の減少と持分法による投資損益が前年同期は利益であったものが当期は損失となって押し下げ要因となり、連結経常利益は微増にとどまりました。なお、投資有価証券売却益は特別利益に計上いたしました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は476億76百万円（前年同期比6.2%増）、営業利益は18億69百万円（前年同期比20.9%増）、経常利益は21億94百万円（前年同期比4.3%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は37億84百万円（前年同期比167.4%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は以下のとおりであります。

セグメントの名称	2025年3月期 連結会計年度 売上高 (百万円)	2026年3月期 連結会計年度 売上高 (百万円)	対前年同期比較	
			金額差異 (百万円)	増減率 (%)
鮮魚の販売事業	28,844	31,466	2,621	9.1
餌料・飼料の販売事業	16,040	16,205	165	1.0
その他の事業	2	3	0	17.6
合 計	44,887	47,676	2,788	6.2

(注) セグメント間の取引については、相殺消去しております。

「鮮魚の販売事業」は、売上高は314億66百万円（前年同期比9.1%増）、セグメント利益は2億20百万円（前年同期比194.9%増）となりました。

「餌料・飼料の販売事業」は、売上高は162億5百万円（前年同期比1.0%増）、セグメント利益は16億94百万円（前年同期比13.8%増）となりました。

「その他の事業」は、売上高は3百万円（前年同期比17.6%増）、セグメント利益は1百万円（前年同期比19.0%増）となりました。

なお、セグメント間の取引については相殺消去しております。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における流動資産合計は389億44百万円となり、前連結会計年度末に比べ67億74百万円増加いたしました。

固定資産合計は163億46百万円となりました。

この結果、資産合計は552億91百万円となり、前連結会計年度末に比べ29億51百万円増加いたしました。

(負債)

当連結会計年度末における流動負債合計は97億34百万円となり、前連結会計年度末に比べ24億52百万円増加いたしました。

固定負債合計は47億76百万円となりました。

この結果、負債合計は145億10百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億28百万円増加いたしました。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は407億80百万円となり、前連結会計年度末に比べ19億23百万円増加いたしました。

この結果、自己資本比率は73.7%（前連結会計年度末は74.2%）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は225億17百万円となり、前連結会計年度末に比べ50億99百万円増加いたしました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は26億60百万円（前連結会計年度は22億28百万円の収入）となり、これは主に税金等調整前当期純利益の計上等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は32億60百万円（前連結会計年度は13億13百万円の使用）となり、これは主に投資有価証券の売却による収入等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は8億20百万円（前連結会計年度は2億33百万円の使用）となり、これは主に長期借入金の返済による支出等によるものであります。

(4) 今後の見通し

日本経済は、ウクライナ情勢に収束が見えない中で、本年2月28日に米国・イスラエルによってイラン軍事衝突が勃発し、中東からの原油調達が非常に困難になってきており、更なる諸物価の上昇が予想されるため、国民生活へ深刻な影響を及ぼすと懸念されております。

このような中東情勢により、各種資材調達の困難や値上げ、物流コストの高騰がある一方、国内外における個人消費活動においても物価上昇により消費意欲の減退などが想定され、従前のような経営環境に回復する見込みが当面立たない状況が続くと予想しております。したがって、2027年3月期の連結業績予想につきましては、開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、各事業年度の利益状況・財政状況および将来の企業価値向上に向けた事業投資のための資金需要等を総合的に勘案した上で、安定した配当を継続的にを行うことを基本方針としております。

当期の期末配当金につきましては、特別利益（投資有価証券売却益）の計上があることから1株当たり25円（うち普通配当17円、特別配当8円）の配当を実施予定であります。

なお、次期の年間配当金については、引き続き安定配当を基本方針としますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定としております。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であり、海外からの資金調達の必要性が乏しいため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	20,683,414	26,783,357
受取手形	2,131,993	1,429,147
売掛金	4,513,781	6,178,318
商品及び製品	869,071	1,036,681
仕掛品	3,072,087	2,659,489
原材料及び貯蔵品	53,006	59,070
短期貸付金	806,816	913,499
その他	251,264	114,461
貸倒引当金	△210,747	△229,043
流動資産合計	32,170,688	38,944,981
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,732,585	6,832,675
減価償却累計額	△2,712,878	△2,969,186
建物及び構築物(純額)	4,019,707	3,863,489
機械装置及び運搬具	4,126,509	4,197,172
減価償却累計額	△2,881,947	△3,067,882
機械装置及び運搬具(純額)	1,244,562	1,129,290
工具、器具及び備品	1,134,527	1,179,112
減価償却累計額	△944,439	△1,005,828
工具、器具及び備品(純額)	190,088	173,284
土地	2,144,200	2,144,200
建設仮勘定	—	6,325
有形固定資産合計	7,598,558	7,316,590
無形固定資産		
投資その他の資産	173,863	115,102
投資有価証券	11,902,726	8,323,955
長期貸付金	559,974	607,719
投資不動産	326,724	326,724
減価償却累計額	△165,259	△168,010
投資不動産(純額)	161,465	158,713
繰延税金資産	23,599	38,916
その他	303,748	339,992
貸倒引当金	△554,501	△554,501
投資その他の資産合計	12,397,011	8,914,795
固定資産合計	20,169,434	16,346,488
資産合計	52,340,122	55,291,470

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,764,495	3,372,316
短期借入金	3,375,480	3,375,480
未払法人税等	398,786	1,701,876
賞与引当金	31,308	32,036
その他	711,643	1,252,818
流動負債合計	7,281,713	9,734,527
固定負債		
長期借入金	3,906,060	3,330,580
役員退職慰労引当金	347,431	382,116
退職給付に係る負債	253,456	250,145
資産除去債務	81,762	82,773
繰延税金負債	1,612,047	730,578
固定負債合計	6,200,758	4,776,194
負債合計	13,482,472	14,510,721
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,770,910	2,785,013
資本剰余金	3,707,657	3,721,783
利益剰余金	28,162,641	31,701,937
自己株式	△20,431	△20,663
株主資本合計	34,620,777	38,188,071
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,232,662	2,588,096
その他の包括利益累計額合計	4,232,662	2,588,096
非支配株主持分	4,210	4,580
純資産合計	38,857,650	40,780,748
負債純資産合計	52,340,122	55,291,470

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
売上高	44,887,777	47,676,039
売上原価	39,565,328	41,737,960
売上総利益	5,322,449	5,938,078
販売費及び一般管理費	3,776,157	4,068,618
営業利益	1,546,291	1,869,459
営業外収益		
受取利息	98,491	114,554
受取配当金	240,375	149,780
投資不動産賃貸料	33,232	35,604
持分法による投資利益	37,668	—
受取賃貸料	17,066	19,392
その他	163,470	96,750
営業外収益合計	590,304	416,081
営業外費用		
支払利息	14,500	17,499
投資不動産費用	9,709	11,036
持分法による投資損失	—	50,797
その他	7,233	11,486
営業外費用合計	31,442	90,820
経常利益	2,105,153	2,194,720
特別利益		
投資有価証券売却益	14,822	3,489,384
特別利益合計	14,822	3,489,384
税金等調整前当期純利益	2,119,975	5,684,104
法人税、住民税及び事業税	719,234	1,998,444
法人税等調整額	△14,979	△99,085
法人税等合計	704,255	1,899,359
当期純利益	1,415,720	3,784,745
非支配株主に帰属する当期純利益	364	594
親会社株主に帰属する当期純利益	1,415,355	3,784,151

## (連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
当期純利益	1,415,720	3,784,745
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	532,172	△1,643,966
持分法適用会社に対する持分相当額	40	△824
その他の包括利益合計	532,212	△1,644,790
包括利益	1,947,933	2,139,955
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,947,506	2,139,586
非支配株主に係る包括利益	426	369

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,757,107	3,693,854	26,991,897	△19,756	33,423,102
当期変動額					
新株の発行	13,803	13,803			27,606
剰余金の配当			△244,612		△244,612
親会社株主に帰属する当期純利益			1,415,355		1,415,355
自己株式の取得				△674	△674
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	13,803	13,803	1,170,743	△674	1,197,675
当期末残高	2,770,910	3,707,657	28,162,641	△20,431	34,620,777

	その他の包括利益累計額	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金		
当期首残高	3,700,511	3,784	37,127,397
当期変動額			
新株の発行			27,606
剰余金の配当			△244,612
親会社株主に帰属する当期純利益			1,415,355
自己株式の取得			△674
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	532,151	426	532,577
当期変動額合計	532,151	426	1,730,252
当期末残高	4,232,662	4,210	38,857,650

当連結会計年度（自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,770,910	3,707,657	28,162,641	△20,431	34,620,777
当期変動額					
新株の発行	14,102	14,102			28,205
剰余金の配当			△244,855		△244,855
親会社株主に帰属する当期純利益			3,784,151		3,784,151
自己株式の取得				△342	△342
自己株式の処分		23		110	133
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	14,102	14,126	3,539,296	△231	3,567,293
当期末残高	2,785,013	3,721,783	31,701,937	△20,663	38,188,071

	その他の包括利益累計額	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金		
当期首残高	4,232,662	4,210	38,857,650
当期変動額			
新株の発行			28,205
剰余金の配当			△244,855
親会社株主に帰属する当期純利益			3,784,151
自己株式の取得			△342
自己株式の処分			133
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△1,644,565	369	△1,644,195
当期変動額合計	△1,644,565	369	1,923,097
当期末残高	2,588,096	4,580	40,780,748

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	2,119,975	5,684,104
減価償却費	658,580	681,159
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	32,289	34,685
賞与引当金の増減額 (△は減少)	2,839	728
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△80,681	18,296
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	1,898	△3,310
受取利息及び受取配当金	△338,866	△264,334
支払利息	14,500	17,499
持分法による投資損益 (△は益)	△37,668	50,797
投資有価証券売却損益 (△は益)	△14,822	△3,489,384
投資不動産賃貸収入	△33,232	△35,604
投資不動産費用	9,709	11,036
売上債権の増減額 (△は増加)	614,836	△1,129,626
棚卸資産の増減額 (△は増加)	622,443	238,925
仕入債務の増減額 (△は減少)	△894,254	607,820
その他	△130,447	717,247
小計	2,547,098	3,140,041
利息及び配当金の受取額	333,527	264,228
利息の支払額	△17,818	△18,323
法人税等の支払額	△633,874	△725,774
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,228,933	2,660,172
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額 (△は増加)	△4	△1,000,264
投資有価証券の取得による支出	△91,263	△1,115,679
有形固定資産の取得による支出	△1,193,635	△327,091
投資有価証券の売却による収入	33,918	5,687,250
有形固定資産の売却による収入	4,308	1,733
無形固定資産の取得による支出	△25,096	△2,194
投資不動産の賃貸による収入	33,232	35,604
投資不動産の賃貸による支出	△7,668	△8,285
貸付けによる支出	△464,936	△401,324
貸付金の回収による収入	458,522	414,893
その他	△61,022	△24,491
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,313,644	3,260,149
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	800,000	—
長期借入金の返済による支出	△788,380	△575,480
自己株式の取得による支出	△674	△342
自己株式の処分による収入	—	133
配当金の支払額	△244,770	△244,954
財務活動によるキャッシュ・フロー	△233,824	△820,643
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	681,464	5,099,678
現金及び現金同等物の期首残高	16,736,241	17,417,705
現金及び現金同等物の期末残高	17,417,705	22,517,383

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、養殖漁業の総合支援事業を展開しており、当該セグメントは、その取り扱う製品・サービス別のセグメントから構成し、「鮮魚の販売事業」及び「餌料・飼料の販売事業」の2つを報告セグメントとしております。

各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類は以下のとおりであります。

- ・「鮮魚の販売事業」は、主にタイ、ハマチ、カンパチ、雑魚（天然魚含む）、稚魚、人工ふ化稚魚、加工品、マグロ、ウナギ等の販売であります。

なお、「鮮魚の販売事業」には、持分法適用関連会社（株式会社最上鮮魚）の鮮魚小売業が含まれております。

- ・「餌料・飼料の販売事業」は、主に生餌、配合飼料、モイストペレット等の販売であります。
- ・「その他」は、連結子会社の一般貨物運送事業であります。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

当該報告セグメントの会計処理方法は、連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等に準じて処理したものであります。

セグメント利益又は損失（△）は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

セグメント間の内部収益及び振替高は、市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	鮮魚の販売 事業	餌料・飼料 の販売事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	28,844,991	16,040,055	44,885,047	2,730	44,887,777	—	44,887,777
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	587,451	587,451	143,221	730,672	△730,672	—
計	28,844,991	16,627,506	45,472,498	145,951	45,618,449	△730,672	44,887,777
セグメント利益	74,606	1,488,597	1,563,204	1,186	1,564,390	△18,099	1,546,291
セグメント資産	11,694,756	5,930,963	17,625,719	42,335	17,668,055	34,672,067	52,340,122
その他の項目							
減価償却費	546,507	78,730	625,237	62	625,299	35,321	660,621
貸倒引当金繰入額	△8,003	△72,677	△80,681	—	△80,681	—	△80,681
持分法投資利益	37,668	—	37,668	—	37,668	—	37,668
持分法適用会社への 投資額	272,613	—	272,613	—	272,613	—	272,613
有形固定資産及び 無形固定資産の増加 額	196,239	99,787	296,026	—	296,026	875,689	1,171,716

当連結会計年度（自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	鮮魚の販売 事業	餌料・飼料 の販売事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	31,466,834	16,205,993	47,672,828	3,211	47,676,039	—	47,676,039
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	676,701	676,701	151,185	827,887	△827,887	—
計	31,466,834	16,882,695	48,349,529	154,396	48,503,926	△827,887	47,676,039
セグメント利益	220,014	1,694,232	1,914,246	1,411	1,915,658	△46,198	1,869,459
セグメント資産	12,753,172	5,738,378	18,491,550	43,951	18,535,502	36,755,967	55,291,470
その他の項目							
減価償却費	553,442	80,615	634,057	62	634,119	49,791	683,911
貸倒引当金繰入額	206	△7,272	△7,066	—	△7,066	—	△7,066
持分法投資損失 (△)	△50,797	—	△50,797	—	△50,797	—	△50,797
持分法適用会社への 投資額	217,484	—	217,484	—	217,484	—	217,484
有形固定資産及び 無形固定資産の増加 額	163,981	50,301	214,282	—	214,282	125,305	339,587

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連結子会社の一般貨物運送事業であります。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

	前連結会計年度	当連結会計年度
セグメント利益又は損失(△)	△18,099千円	△46,198千円
セグメント間取引消去における内部利益 その他調整額	△22,813 4,714	△51,105 4,906
セグメント資産	34,672,067千円	36,755,967千円
本社管理部門に対する債権の相殺消去 報告セグメントに属さない全社資産	△1,057,206 35,729,273	△1,057,206 37,813,173

3. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報の注記)

1. 1株当たり純資産額

前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
1株当たり純資産額 3,173.58円	1株当たり純資産額 3,327.30円

(注) 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	38,857,650	40,780,748
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	4,210	4,580
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	38,853,439	40,776,167
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(千株)	12,242	12,255

2. 1株当たり当期純利益

前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり当期純利益 115.64円	1株当たり当期純利益 308.87円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	1,415,355	3,784,151
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	1,415,355	3,784,151
普通株式の期中平均株式数(千株)	12,239	12,251

(重要な後発事象の注記)

該当事項はありません。

4. その他

役員の変動

① 代表取締役の変動

該当事項はありません。

② その他の役員の変動

・新任取締役候補

社外取締役 外輪 宏二(現 Umios株式会社 執行役員水産商事ユニット長、養殖ユニット長)  
取締役餌料部長 水野 明洋(現 執行役員餌料部長)

・退任予定取締役

社外取締役 井本 悟史

③ 就任及び退任予定日

2026年6月17日